

# 目 次

## 平成27年度～29年度 総合研究報告書

[H27～H29 総合研究報告書]

【3 か年 総合研究報告書（平成27年度～29年度）】病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究（今村 知明 研究代表者）

A. 研究目的	ii
B. 研究方法	ii
C. 研究結果	iii

## 平成29年度 総括・分担研究報告書

[H29 総括研究]

【総括研究報告書】病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究（今村 知明 研究代表者）

A. 研究目的	2
B. 研究方法	2
1. 医療計画グループ	2
2. 病床機能グループ	2
C. 研究結果	3
1. 医療計画班	3
2. 病床機能グループ	3
D. 考察	5
1. 医療計画班	5
2. 病床機能グループ	5
E. 結論	7
F. 健康危険情報	7
G. 研究発表	7
1. 論文発表	7
2. 学会発表	8
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	11
1. 特許取得	11
2. 実用新案登録	11
3. その他	11

[H29 分担研究]

### 1 医療計画グループ

1-1 【医療計画班】医療計画の策定プロセス等に関する調査について（河原 和夫、田

極 春美、伊藤 達哉)

A. 研究目的	1-1
B. 研究方法	1-1
C. 研究結果	1-2
1. 回答数	1-2
2. 調査結果	1-2
D. 考察	1-10
E. 結論	1-12
F. 健康危険情報	1-12
G. 研究発表	1-12
H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)	1-13
1. 特許取得	1-13
2. 実用新案登録	1-13
3. その他	1-13

## 2 病床機能グループ

### 2-1 【定量分析班】病床機能選択の基準作成に関する研究～病床機能報告データに基づく分析～ (松田 晋哉、藤森 研司、伏見 清秀、石川 ベンジャミン 光一)

A. 研究目的	2-1-1
B. 研究方法	2-1-1
C. 研究結果	2-1-2
D. 考察	2-1-10
E. 結論	2-1-11
F. 健康危険情報	2-1-11
G. 研究発表	2-1-11
1. 論文発表	2-1-11
2. 学会発表	2-1-11
H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)	2-1-11
1. 特許取得	2-1-11
2. 実用新案登録	2-1-11
3. その他	2-1-11

### 2-2 【事例統括班】医療から見た地域包括ケアを推進するための参考事例調査と統括 (長谷川 友紀、池田 俊也、小林 美亜、瀬戸 僚馬、野田 龍也)

A. 研究目的	2-2-1
B. 研究方法	2-2-1
C. 研究結果	2-2-2
1. 調査票の回収状況	2-2-2
2. 回答医療機関の病床規模	2-2-3
3. 回答医療機関の所在地 (7 地方区分)	2-2-3
4. 回答医療機関の開設者主体	2-2-3
5. 取り組みの種類 (大分類)	2-2-4

6. 取り組みの種類（小分類）	2-2-5
D. 考察	2-2-6
E. 結論	2-2-7
F. 健康危険情報	2-2-7
G. 研究発表	2-2-7
1. 論文発表	2-2-7
2. 学会発表	2-2-7
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-2-7
1. 特許取得	2-2-7
2. 実用新案登録	2-2-7
3. その他	2-2-7
2-3 【機能連携班①】 Basic Outcome Master(BOM)を用いた大腿骨頸部骨折連携クリニカルパス運用により可視化された病床機能ごとの患者アウトカム（副島 秀久・町田 二郎）	
A. 研究目的	2-3①-1
B. 研究方法	2-3①-2
C. 研究結果	2-3①-2
D. 考察	2-3①-11
E. 結論	2-3①-13
F. 健康危険情報	2-3①-13
G. 研究発表	2-3①-13
1. 論文発表	2-3①-13
2. 学会発表	2-3①-13
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3①-14
1. 特許取得	2-3①-14
2. 実用新案登録	2-3①-14
3. その他	2-3①-14
2-3 【機能連携班②】 病床機能分化・連携を強く意識したクリティカルパス活用方法に関する検討（瀬戸 僚馬、小林 美亜、池田 俊也）	
A. 研究目的	2-3②-1
B. 研究方法	2-3②-2
C. 研究結果	2-3②-3
D. 考察	2-3②-6
E. 結論	2-3②-7
F. 健康危険情報	2-3②-8
G. 研究発表	2-3②-8
1. 論文発表	2-3②-8
2. 学会発表	2-3②-8
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3②-8
1. 特許取得	2-3②-8

2.	実用新案登録	2-3②-8
3.	その他	2-3②-8
2-3 【機能連携班③】連携を促進する共有情報項目に関する検討（小林 美亜、瀬戸 僚馬、町田 二郎、池田 俊也）		
A.	研究目的	2-3③-1
B.	研究方法	2-3③-1
C.	研究結果	2-3③-2
D.	考察	2-3③-2
E.	結論	2-3③-3
F.	健康危険情報	2-3③-3
G.	研究発表	2-3③-3
1.	論文発表	2-3③-3
2.	学会発表	2-3③-3
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3③-3
1.	特許取得	2-3③-3
2.	実用新案登録	2-3③-3
3.	その他	2-3③-3
2-4 【地域包括班】医療側から見た地域包括ケアシステムの好事例の整理（町田 宗仁、野田 龍也、牧野 憲一、木村 慎吾）		
A.	研究目的	2-4-1
B.	研究方法	2-4-1
C.	研究結果	2-4-2
D.	考察	2-4-4
E.	結論	2-4-4
F.	健康危険情報	2-4-5
G.	研究発表	2-4-5
1.	論文発表	2-4-5
2.	学会発表	2-4-5
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-4-5
1.	特許取得	2-4-5
2.	実用新案登録	2-4-5
3.	その他	2-4-5
2-5 【実地検証班①】国保レセプトデータを用いた胃瘻の分析（次橋 幸男、赤羽 学、野田 龍也、林 修一郎、今村 知明、村上 淳基）		
A.	研究目的	2-5①-1
B.	研究方法	2-5①-1
C.	研究結果	2-5①-2
1.	胃瘻造設術 （経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	2-5①-2

2.	胃瘻より流動食点滴注入	2-5①-3
3.	経管栄養カテーテル交換法	2-5①-4
4.	中心静脈注射	2-5①-5
D.	考察	2-5①-7
E.	結論	2-5①-7
F.	健康危険情報	2-5①-7
G.	研究発表	2-5①-7
1.	論文発表	2-5①-7
2.	学会発表	2-5①-8
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-5①-11
1.	特許取得	2-5①-11
2.	実用新案登録	2-5①-11
3.	その他	2-5①-11
2-5	【実地検証班②】国保レセプトデータを用いた被保険者の県内・県外、二次医療圏内、市町村内の医療機関への受診状況の分析（今村 知明、野田 龍也、村上 淳基、林 修一郎）	
A.	研究目的	2-5②-1
B.	研究方法	2-5②-1
C.	研究結果	2-5②-2
D.	考察	2-5②-10
E.	結論	2-5②-10
F.	健康危険情報	2-5②-10
G.	研究発表	2-5②-10
1.	論文発表	2-5②-10
2.	学会発表	2-5②-11
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-5②-14
1.	特許取得	2-5②-14
2.	実用新案登録	2-5②-14
3.	その他	2-5②-14
3	研究成果の刊行に関する一覧表	3-1

平成28年度 総括・分担研究報告書
-------------------

[H28 総括研究]

【総括研究報告書】病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究（今村 知明 研究代表者）

A.	研究目的	2
B.	研究方法	2

1.	医療計画班	2
2.	医療構想グループ	2
3.	専門医需給班	2
C.	研究結果	3
1.	医療計画班	3
2.	医療構想グループ	3
3.	専門医需給班	4
D.	考察	4
1.	医療計画班	4
2.	医療構想グループ	4
3.	専門医需給班	5
E.	結論	5
F.	健康危険情報	5
G.	研究発表	5
1.	論文発表	5
2.	学会発表	7
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	10
1.	特許取得	10
2.	実用新案登録	10
3.	その他	10

[H28 分担研究]

1 医療計画班

1-1 【医療計画班①】地域医療構想を第七次医療計画に盛り込むに当たって必要な事項  
(河原 和夫、田辺 正樹、田極 春美、野田 龍也)

A.	研究目的	1-1-1
B.	研究方法	1-1-2
C.	研究結果	1-1-2
D.	考察	1-1-9
E.	結論	1-1-14
F.	健康危険情報	1-1-14
G.	研究発表	1-1-14
1.	論文発表	1-1-14
2.	学会発表	1-1-14
H.	知的財産権の出願・登録状況	1-1-14
1.	特許取得	1-1-14
2.	実用新案登録	1-1-14
3.	その他	1-1-14

1-2 【医療計画班②】疾病・事業ごとの PDCA サイクルの推進、医療機器配置の現状把握  
(別添)(田辺 正樹)

A.	研究目的	1-2-1
----	------	-------

B.	研究方法	1-2-1
C.	研究結果	1-2-5
D.	考察	1-2-19
E.	結論	1-2-20
F.	健康危険情報	1-2-20
G.	研究発表	1-2-20
	1. 論文発表	1-2-20
	2. 学会発表	1-2-20
H.	知的財産権の出願・登録状況	1-2-20
	1. 特許取得	1-2-20
	2. 実用新案登録	1-2-20
	3. その他	1-2-21
2	医療構想グループ	
2-1	【定量分析班】福岡県の病床機能報告データを用いた病床機能選択定量基準作成のための探索的分析（松田 晋哉・藤森 研司・伏見 清秀・石川 ベンジャミン 光一）	
A.	研究目的	2-1-1
B.	研究方法	2-1-1
C.	研究結果	2-1-2
D.	考察	2-1-11
E.	結論	2-1-11
F.	健康危険情報	2-1-11
G.	研究発表	2-1-11
	1. 論文発表	2-1-11
	2. 学会発表	2-1-11
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-1-11
	1. 特許取得	2-1-11
	2. 実用新案登録	2-1-11
	3. その他	2-1-11
2-2	【事例統括班】地域医療連携や病床機能区分を推進するための参考事例調査と統括（長谷川 友紀・池田 俊也・小林 美亜・瀬戸 僚馬・野田 龍也）	
A.	研究目的	2-2-1
B.	研究方法	2-2-1
C.	研究結果	2-2-1
	1. 調査票の回収状況	2-2-1
	2. 回答医療機関と回答事例の病床規模	2-2-3
	3. 回答医療機関と回答事例の所在地	2-2-3
	4. 取り組みの種類（複数事例、複数回答）	2-2-3
D.	考察	2-2-4
E.	結論	2-2-5
F.	健康危険情報	2-2-5

G. 研究発表	2-2-5
1. 論文発表	2-2-5
2. 学会発表	2-2-6
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-2-6
1. 特許取得	2-2-6
2. 実用新案登録	2-2-6
3. その他	2-2-6
2-3 【地域事例班①】新しい概念に基づく大腿骨頸部骨折連携クリニカルパスによる急性期病院から回復期病院への地域連携（副島 秀久、町田 二郎）	
A. 研究目的	2-3①-1
B. 研究方法	2-3①-1
C. 研究結果	2-3①-2
D. 考察	2-3①-6
E. 結論	2-3①-9
F. 健康危険情報	2-3①-9
G. 研究発表	2-3①-9
1. 論文発表	2-3①-9
2. 学会発表	2-3①-9
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3①-10
1. 特許取得	2-3①-10
2. 実用新案登録	2-3①-10
3. その他	2-3①-10
2-3 【地域事例班②】地域事例視察：上川中部医療圏（野田 龍也、町田 宗仁）	
A. 研究目的	2-3②-1
B. 研究方法	2-3②-1
C. 研究結果	2-3②-3
1. 地域医療構想策定をどのように受け止めているか	2-3②-3
2. 「病床数推計値」に関する受け止め	2-3②-3
3. 2次、3次救急診療体制について	2-3②-3
4. 地域包括ケアに関する従前からの議論	2-3②-3
5. 構想会議における議題	2-3②-4
6. 患者の流出入	2-3②-5
7. 地域包括ケア推進に向けた取り組み	2-3②-5
D. 考察	2-3②-5
E. 結論	2-3②-6
F. 健康危険情報	2-3②-6
G. 研究発表	2-3②-6
1. 論文発表	2-3②-6
2. 学会発表	2-3②-6
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3②-6



1.	特許取得	2-3②-6
2.	実用新案登録	2-3②-6
3.	その他	2-3②-6
2-3 【地域事例班③】 地域事例視察：石川中央医療圏（野田 龍也、町田 宗仁）		
A.	研究目的	2-3③-1
B.	研究方法	2-3③-1
C.	研究結果	2-3③-3
1.	地域医療構想策定をどのように受け止めているか	2-3③-3
2.	「病床数推計値」に関する受け止め	2-3③-3
3.	2次、3次救急診療体制について	2-3③-3
4.	地域包括ケアに関する従前からの議論	2-3③-3
5.	構想会議における議題	2-3③-3
6.	患者の流出入	2-3③-4
7.	地域包括ケア推進に向けた取り組み	2-3③-4
D.	考察	2-3③-6
E.	結論	2-3③-6
F.	健康危険情報	2-3③-6
G.	研究発表	2-3③-6
1.	論文発表	2-3③-6
2.	学会発表	2-3③-6
H.	知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-3③-6
1.	特許取得	2-3③-6
2.	実用新案登録	2-3③-6
3.	その他	2-3③-6
2-4 【実地検証班】 レセプトデータからみた病院機能の新規指標（野田 龍也・林 修一郎・村上 淳基・今村 知明）		
A.	研究目的	2-4-1
B.	研究方法	2-4-1
C.	研究結果	2-4-2
1.	分析対象病院の概要（2014年度）	2-4-2
2.	入院実患者数の性別・年齢別分析	2-4-4
3.	入院実患者数に占める死亡者	2-4-6
4.	病院別の特定疾患率、診療科別比率	2-4-8
5.	病院別の診療報酬	2-4-10
6.	保険者番号（国保）ごとの分析	2-4-11
D.	考察	2-4-20
E.	結論	2-4-20
F.	健康危険情報	2-4-20
G.	研究発表	2-4-20
1.	論文発表	2-4-20

2. 学会発表	2-4-21
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	2-4-24
1. 特許取得	2-4-24
2. 実用新案登録	2-4-24
3. その他	2-4-24
3 専門医需給班	
【専門医需給班】専門医の需要の推計方法に関する研究（小池 創一・今村 知明・野田 龍也・渡 三佳・川口 英明）	
A. 研究目的	3-1
B. 研究方法	3-2
C. 研究結果	3-4
D. 考察	3-12
E. 結論	3-13
F. 健康危険情報	3-13
G. 研究発表	3-13
1. 論文発表	3-13
2. 学会発表	3-13
H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）	3-13
1. 特許取得	3-13
2. 実用新案登録	3-13
3. その他	3-13
4 研究成果の刊行に関する一覧表	4-1

平成27年度 総括・分担研究報告書
-------------------

[H27 総括研究]

1. 病床機能の分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究（今村 知明 研究代表者）	
A. 研究目的	1-1
B. 研究方法	1-2
1. 定量分析班	1-2
2. 事例統括班	1-2
3. 地域事例班	1-2
4. 実地検証班	1-2
5. 議論支援班	1-2
C. 研究結果	1-2
1. 定量分析班	1-2
2. 事例統括班	1-2

3.	地域事例班	1-2
4.	実地検証班	1-3
D.	考察	1-3
1.	定量分析班	1-3
2.	事例統括班	1-4
3.	地域事例班	1-4
4.	実地検証班	1-4
E.	結論	1-5
F.	健康危険情報	1-5
G.	研究発表	1-5
1.	論文発表	1-5
2.	学会発表	1-5
H.	知的財産権の出願・登録状況	1-6
1.	特許取得	1-6
2.	実用新案登録	1-6
3.	その他	1-6

[H27 分担研究]

2.	【定量分析班】病床機能報告制度のより適切な報告方法についての検討（松田 晋哉・石川 ベンジャミン 光一・伏見 清秀・藤森 研司）	
A.	研究目的	2-1
B.	研究方法	2-2
1.	病床機能報告制度に係る議論	2-2
2.	より客観的な基準のための分析事例	2-2
C.	研究結果	2-3
1.	疾患別診療行為別の分析	2-3
2.	病床機能報告制度を活用した病院単位での分析	2-4
3.	客観的な基準設定における課題	25
D.	考察	2-5
E.	結論	2-5
F.	健康危険情報	2-5
G.	研究発表	2-5
1.	論文発表	2-5
2.	学会発表	2-5
H.	知的財産権の出願・登録状況	2-5
1.	特許取得	2-5
2.	実用新案登録	2-5
3.	その他	2-5
3.	【事例統括班】地域医療連携や病床機能区分を推進するための優良事例調査と統括（長谷川 友紀・池田 俊也・小林 美亜・瀬戸 僚馬・野田 龍也・今村 知明）	
A.	研究目的	3-1

B.	研究方法	3-1
C.	研究結果	3-1
1.	調査票の回収状況	3-1
2.	回答医療機関の病床規模	3-2
3.	回答医療機関の所在地	3-2
4.	取り組みの種類（複数事例、複数回答）	3-2
D.	考察	3-3
E.	結論	3-3
F.	健康危険情報	3-3
G.	研究発表	3-3
1.	論文発表	3-3
2.	学会発表	3-3
H.	知的財産権の出願・登録状況	3-3
1.	特許取得	3-3
2.	実用新案登録	3-3
3.	その他	3-3
4.	【地域事例班①】地域連携を基本とした疾患における熊本県の急性期、亜急性期医療需要予測（副島 秀久・町田 二郎）	
A.	研究目的	4-1
B.	研究方法	4-1
1.	用語	4-1
2.	研究方法	4-1
C.	研究結果	4-3
1.	熊本県の推計患者数	4-3
2.	熊本県の主要疾患1日発生数	4-3
3.	熊本県の主要疾患別1日発生数の増減数	4-3
4.	熊本県の急性期追加必要病床数	4-4
5.	熊本県の亜急性期追加必要病床数	4-4
D.	考察	4-4
E.	結論	4-5
F.	健康危険情報	4-5
G.	研究発表	4-5
1.	論文発表	4-5
2.	学会発表	4-5
H.	知的財産権の出願・登録状況	4-5
1.	特許取得	4-5
2.	実用新案登録	4-5
3.	その他	4-5
5.	【地域事例班②】脳卒中地域連携クリニカルパス分析から見える急性期、亜急性期医療プロセスの課題（副島 秀久・町田 二郎）	

A.	研究目的	5-1
B.	研究方法	5-1
1.	用語	5-1
2.	研究対象	5-1
3.	研究方法	5-2
C.	研究結果	5-3
1.	A、B群の急性期退院時 mRS 別症例数、年齢、入院回数、急性期平均在院日数、亜急性期平均在院日数、急性期 mRS、急性期感染症発症率、感染症内訳	5-3
2.	A群における済生会熊本病院退院時 mRS 別臨床病型、B群における済生会熊本病院退院時 mRS 別臨床病型	5-5
3.	A群における急性期再入院例、死亡例、転退院例別の症例数、臨床病型、年齢、急性期平均在院日数、亜急性期平均在院日数	5-7
4.	A群における急性期再入院例、死亡例、転退院例の要因	5-8
5.	A、B群の急性期感染症発症率、急性期感染症発症例の亜急性期での感染症発症、A群（急性期再入院例、死亡例、転退院例別）感染症発症例の急性期感染症発症既往に関するデータ	5-9
6.	A群における急性期再入院例、死亡例、転退院例別 mRS、FIM データ	5-9
7.	A群における転退院例の患者転帰別データ	5-10
8.	B群における FIM 改善ありなし平均在院日数	5-11
9.	B群における mRS 別、在院日数別 FIM 改善ありなし平均在院日数	5-11
10.	B群における mRS 別、在院日数別 FIM 推移	5-12
11.	B群における mRS 別、在院日数別転帰	5-13
12.	B群における入院後 2 ヶ月間 FIM 改善なし症例とあり症例の比較と転帰	5-14
13.	急性期退院時 mRS、亜急性期入院時 FIM、亜急性期 FIM 到達レベルの関係	5-15
D.	考察	5-16
E.	結論	5-18
F.	健康危険情報	5-18
G.	研究発表	5-18
1.	論文発表	5-18
2.	学会発表	5-18
H.	知的財産権の出願・登録状況	5-18
1.	特許取得	5-18
2.	実用新案登録	5-18
3.	その他	5-18
6.	【地域事例班③】病床の機能分化と連携の推進に向けた取り組み（小林 美亜）	
A.	研究目的	6-1
B.	研究方法	6-1
C.	研究結果	6-1
1.	千葉保健医療圏の医療需要	6-1

2.	千葉保健医療圏の取り組み事例	6-2
D.	考察	6-3
E.	結論	6-4
F.	健康危険情報	6-4
G.	研究発表	6-4
1.	論文発表	6-4
2.	学会発表	6-4
H.	知的財産権の出願・登録状況	6-4
1.	特許取得	6-4
2.	実用新案登録	6-4
3.	その他	6-4
7.	【実地検証班①】地域医療構想の実現に資する各種ツールの実地検証（今村 知明・野田 龍也・渡辺 顕一郎・和家佐 日登美・西本 莉紗恵・吉井 克昌）	
A.	研究目的	7-1
B.	研究方法	7-1
1.	病院プロット地図	7-1
2.	患者重複指数	7-2
3.	地域間流出入	7-2
4.	疾病別アクセス分布	7-2
5.	傷病別の必要病床数推計	7-2
C.	研究結果	7-2
1.	病院プロット地図	7-2
2.	患者重複指数	7-2
3.	地域間流出入	7-2
4.	疾病別アクセス分布	7-3
5.	傷病別の必要病床数推計	7-3
D.	考察	7-3
1.	病院プロット地図	7-3
2.	患者重複指数	7-3
3.	地域間流出入	7-3
4.	疾病別アクセス分布	7-3
5.	傷病別の必要病床数推計	7-4
E.	結論	7-4
F.	健康危険情報	7-4
G.	研究発表	7-4
1.	論文発表	7-4
2.	学会発表	7-4
H.	知的財産権の出願・登録状況	7-5
1.	特許取得	7-5
2.	実用新案登録	7-5
3.	その他	7-5

8. 【実地検証班②】地域医療構想の推進に資する急性期指標の開発（今村 知明・野田 龍也）	
A. 研究目的	8-1
B. 研究方法	8-1
1. 項目選定	8-1
2. 項目の縮約	8-1
3. 病床規模の補正	8-2
4. スコアの標準化	8-2
5. 合算による急性期指標の作成	8-3
C. 研究結果	8-3
D. 考察	8-3
E. 結論	8-5
F. 健康危険情報	8-5
G. 研究発表	8-5
1. 論文発表	8-5
2. 学会発表	8-5
H. 知的財産権の出願・登録状況	8-5
1. 特許取得	8-5
2. 実用新案登録	8-5
3. その他	8-6
9. 研究成果の刊行に関する一覧表	9-1

平成27年度～29年度 成果の刊行に関する一覧表
--------------------------

[H27～H29]

3か年 研究成果の刊行に関する一覧表（平成27年度～29年度）	1
---------------------------------	---